

「第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」が開催されました

経済産業省及び一般財団法人日中経済協会は、中国国家発展改革委員会及び商務部と共催で、日本と中国の省エネルギー・環境分野における官民合同フォーラムである「第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」を11月26日（土曜日）に北京で開催しました。



日本側からは、世耕経済産業大臣、宗岡正二日中経済協会会長、嶋田通商政策局長等が参加し、中国側からは、徐紹史（じょ・しょうし）国家発展改革委員会主任、張勇（ちやう・ゆう）国家発展改革委員会副主任、高燕（こう・えん）商務部副部長等が参加しました。

世耕大臣と徐主任は、経済産業省と国家発展改革委員会による「省エネルギー・環境分野における日中協力の更なる深化を図るための覚書」に署名しました。覚書には、本フォーラムの継続開催、企業・研究機関の更なる協力の推進、グリーン発展人材の育成強化などの内容が含まれました。



本フォーラムには、両国合わせて 800 名を超える官民関係者が参加しました。世耕経済産業相と中国国家発展改革委員会トップの徐紹史（シューシャオシー）主任が、政府間で省エネや環境分野の人材育成を進めることなどを盛り込んだ覚書に署名しました。これとは別に両国の企業や研究機関が、計 28 の共同プロジェクトを進める事に合意し調印しました。



同済大学綠色建築及新能源研究センターの譚洪衛教授と日資企業節能環保推進研究会の世話役大貫勝様は代表して「同済国際綠色産業創新中心」設立の為の同済大学綠色建築及新能源研究センター、同済大学国家大学科技园と日資企業節能環保推進研究会との業務協力に関する覚書を締結しました。



大気や水質の深刻な汚染に苦しむ中国は、高い技術力を持つ日本の協力を得て環境改善を進めたい考えであり、日本も環境ビジネスを中国で広げる好機ととらえ、今後更なる関係強化を図る方針です。